

諏訪町商店街から賑わいを波及し、笑顔溢れる地域を目指して

○エントリー団体

チーム諏訪町

○コラボメンバー(役割分担)

北上諏訪町商店街振興組合(実施主体)

黒沢尻歌舞伎保存会(花魁道中実施)

橋本かつら店(花魁道中全体のサポート)



○事業への思い・解決したい課題

北上市はものづくりにおける誘致を積極的に進め、産業拠点都市として活力がある半面、中心市街地や商店街は建物の老朽化、経営者の高齢化・後継者不足など多くの課題を抱え、市街地の活力は衰退しています。活気あるまちの未来を創るには、住み暮す人々がやりがいを感じられるのは勿論のこと、「ウキウキ・ワクワク」するまちづくりが重要です。

そのため、「一人ひとりが地域商社という概念によってもたらされる地域経済への可能性を知り、課題に取り組むこと」「一人ひとりが協働から生まれる地域経済の付加価値を理解し、自身の経済活動へ積極的に取り入れるきっかけとなること」を軸に、地域の人々が「行きたい」「働きたい」と思える商店街づくりを進めていきます。

○コラボの経緯

諏訪町での「花魁道中」は、2019 年までは北上展勝地さくらまつりの一環として行われてきました。2020 年以降は新型コロナの影響もあり開催ができず、また担い手の不足等もあり、その後の開催についても多くの課題があるのが現状でした。

また「きゅうり天王祭」についても諏訪町商店街振興組合が毎年開催してきましたが、組合員の減少によって、規模を縮小せざるを得ない状況となっていました。

この課題を解決すべく、商店街への新しい関わりの仕組みづくりとして立ち上げたのがチーム諏訪町です。

チーム諏訪町は地元商店主ではなくても、まちに関わる機会をつくり、地域の人々の笑顔を増やしていきます。

○具体的な取り組み内容

(春の諏訪町祭り花魁道中)

毎年 4 月下旬に「春の諏訪町祭り～花魁道中～」を開催。(現在 2 回開催)コロナ禍の中賑わいが減少した商店街をどうにか盛り上げたいと考え、「北上ならではの素敵な事業を」ということで、スタートしました。当日は花魁道中のほか、飲食やクラフト等、多くの露店が出店し、祭りを盛り上げていただいています。

2023 年度の 1 回目は約 3,000 名、2024 年度は約 4,000 名を超える方に来場していただきました。

(きゅうり天王祭ゲームコーナー)

きゅうり天王祭を毎年開催している主催団体の北上諏訪町商店街振興組合と協働で、2 年前から子ども向けゲームコーナーを運営しています。来場者は初回の 2023 年度約 1,200 名、2024 年度は約 2,500 名となっており、多くの子ども達が参加する人気企画となっています。ゲームコーナーの景品などは 6 割協賛品となっており、諏訪町商店街で店舗を構えている店舗、きゅうり天王祭に出店される出店者の皆さまから毎年協賛品をいただき、お祭りに来てくれた方がより楽しめるよう創意工夫をしています。

○コラボの効果

地域事業者や住み暮らす方々と協働の輪が年々広がっており、様々な知識を持った方々と個々の強みを生かす機会につながりました。

20 代～50 代までの世代を超えた協働の輪を上げることができ、若い力と経験豊かな仲間と共に伝統芸能を復活させる機会になりました。

○今後の展開

諏訪町商店街から賑わいを波及させ、今より更に元気な商店街になるべく仲間をどんどん増やし様々なチャレンジをしていきたいと考えております。